

様式

郷づくり基本構想 市民意見公募によるご意見・回答表

NO	提出された意見（概要）	市(実施機関)の考え方
1	<p>①各団体の位置付けや活動内容を明確にし、公金の使途に透明性を持たせる必要がある。</p> <p>②「地域でできること」に定義付けが必要。</p> <p>③必須分野「防犯・防災」に関して、市民の警戒心を高める施策が必要。</p>	<p>①各団体の区別が分かりやすいように、文言を一部修正します。また、交付金使途の透明性確保や情報公開に関しては、郷づくり推進事業交付金交付要綱にて対応できるものと考えています。</p> <p>②「地域でできること」は各郷づくり地域の状況や課題によって異なるため、定義付けは予定していません。</p> <p>③防犯に関しては、目標 2-2、2-3 にありますように、地域が主体的に活動し、市が後方支援を行います。具体的な施策については、地域の実情に合わせて取り組むものと考えます。</p>
2	<p>①郷づくりの名称そのものを見直し、役割の明確化と重要性の周知を徹底してほしい。</p> <p>②郷づくり間の交流を促進し、活動の固定化を打破してほしい。</p>	<p>①構想の中で、協議会や自治会の位置付けや役割を記載していますが、いまだ浸透していないのも事実です。郷づくりの重要性が広く認知されるような周知方法をさらに検討していきたいと思えます。なお、名称に関しては、名称そのものより「多様な方たちに魅力を感じてもらえるような取り組み施策を考える」ことで実効性を高めたいと考えています。</p> <p>②今年度より市主催のワークショップや講座を開催し、地域間交流や学びの場を増やしました（目標 3-2 市の支援策）。ご提案のとおり、地域を超えた交流の機会を作ることで、活動のヒントが得られるものと考えています。</p>
3	<p>市民参加を進めるため、自治会を廃止して郷づくり推進協議会に一本化した上で、協議会連合会を設立し、交付金の流れも変えてはどうか。</p>	<p>このたびの構想の改訂は、上位計画である「まちづくり基本構想」の計画期間中であることから、郷づくりの組織体制そのものに関わるような大きな見直しは行わず、市の施策を中心に見直す予定です。</p> <p>また、自治会は地域住民が自主的に設立した自治組織であるため、市が廃止を求めることはありません。なお、自治会運営において何らかの問題が生じた場合は、必要に応じて郷づくり単位で検討したり、市が助言したりする場合があります。</p>

<p>4</p>	<p>①住民主体の自治活動を展開するため、郷づくり地域ごとの統計情報が提供できる体制にしてほしい。</p> <p>②自治会主体の基礎事業に対して協議会運営業務を行う必然性がないのではないか。また、必須分野を自主事業として掲載している意図が分からない。</p> <p>③郷づくり計画の検証や見直しをする際、市からの支援があるとよい。</p> <p>④提案型交付金の交付に向けて整備をすすめてほしい。</p> <p>⑤現行P 2 8市の支援体制のうち、基礎データ等の提供に関する部分を残してほしい。</p>	<p>①統計情報や各種調査の結果は、市公式ホームページなどを通じて、可能な限り郷づくり地域単位の統計情報を公開しています。地域に応じた取り組みを後押しするため、今後も継続していく予定です。</p> <p>②郷づくり制度では「誰もが安心・安全に暮らせる地域を作っていく」という共通の目的を持った自治会と協議会が、事業内容や交付金の用途を地域一体となって考えていくことが、地域自治を進める上で効果的であると考えています。</p> <p>また、必須分野であっても、地域の実情に応じて取り組んだほうが効果的なものは、取り組み内容を限定せず、自主事業に位置付けています。</p> <p>③郷づくり計画は市民計画であることから地域主体で見直しを行うものですが、市は地域の自主自立に向けた支援をする立場として、情報提供や助言、協議会同士の情報共有の機会を設けるなどして関わる予定です。</p> <p>④今年度は、交付金見直し検討委員会において、交付金のあり方や算定方法の見直しを検討しました。今後も協議会のニーズや庁内意見を収集しながら制度研究していく予定です。</p> <p>⑤市からの情報提供に関しては、P 3 2市の支援策「協議会のより良い運営のための支援」の中で「先進事例・統計データ等の情報提供」を追記することで対応予定です。</p>
----------	---	---